

事例名

生徒のグループ発表とその評価

校種・学年

高等学校・3年

教科・科目・単元・題材

国語科・古典探究『源氏物語』(①-a) / 文学国語『舞姫』(①-b)

学校名<任意>

—

事例報告者氏名<任意>

—

機能名(アプリ名)

Forms

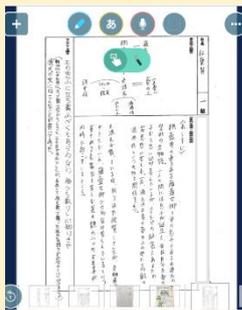
学習アプリ(ロイロノート) , 動画作成アプリ(iMovie)

ICT活用のポイント

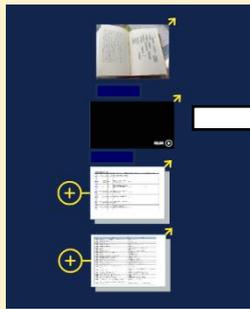
- ・共有ノートを活用することで、小グループ内で互いの意見・見解・ノートを見せ合ったり、グループとしてまとめ方を工夫したりすることができ、個とグループへの活動の移行がスムーズになった。
  - ・回答共有の機能を使うことで、各人が提出した考えや感想を自分のペースで読み進めることができる。(名前を出すことも伏せることも、必要に応じて選ぶことができる。)
  - ・グループ毎の評価の返しについては、評価を紙で回収していた頃は仕分けにも時間がかかったが、Excelのフィルターを使ってグループ毎のデータを速やかにPDFとして作成できるようになった。
- 評価の閲覧についても、紙の評価カードでは生徒が閲覧するのに時間差が生じていたが、共有ノートに置いておけば、生徒は自分のタイミングで評価を確認することができ、生徒の満足度が上がった。

活用場面

①-a 古典探究では、本文読解前に、各帖の人物関係やあらすじ等を簡潔にまとめて発表する時間をとった。生徒は共有ノート上で、各自の集めた資料の共有や発表用プリントを完成させるための作業を行った。指導者が紙に「書く」こともさせなかったためプリントは手書きとし、スキャンしたPDFを共有ノートや画面配信で生徒が共有することとした。グループ発表時は、ロイロノート上のPDFを提示しながら生徒が説明し、その後iMovieを活用したあらすじ紹介動画を上映する旨も説明した。授業時間内に予定の作業が終わらなかった班については、夏季休業中も共有ノートを開けておき、各グループで作業が進められるようにしておいた。



あらすじ紹介プリント(PDF)



共有ノートの例  
上段のグループ2段目の  
黒い画面は動画



iMovieのテンプレートに写真を追加すれば、映画の予告編のような動画を作成することができる。

作業中の動画をロイロノートに書き出したもの  
(複数グループの作品)

